Community School

地域とともにある 学校づくりのために

茶内CSだより

令和2年度 コミュニティ・スクールの活動が始まりました

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、運営委員を集めての協議会ができない状況でしたが、 過日、浜中町教育委員会より運営委員の委嘱があり、7月28日(火)茶内小学校音楽室にて、第1 回茶内地区学校運営協議会(コミスク)を開催することができました。冒頭において藤原会長から 次のようにご挨拶がありました。

- ・2 月中頃から行事等ができずに卒業していった子どもたちや保護者にとっては大変寂しい思いをさせた。
- · 今後も(行事等を)中止せざる得ない状況が続くことが考えられるが子どもたちのためによろしくお願いしたい。

〔新任 PTA 会長〕



中学校 PTA 二瓶会長



小学校 PTA 井関会長

長 藤原 政光 会 副会長 寿宏 山口 事務局長 委 員 佐々木 栄 長岡 滋雄 中原 潤一 二瓶 雅樹(中学校P会長) 新任合 井関 一祥(小学校P会長) 新任合 菅田実津留(保育所P会長) 田中 君枝(中学校校長) 新任一 飯屋崎 修 (小学校校長) 新任合 事務局員 浩也 (中学校教頭) 山田 伊藤 善一 (小学校教頭)

茶内小学校のグラウンドデザイン



今年度着任された飯屋 崎校長が小学校のグラウ ンドデザインについて説 明しました。

要点は次のとおりです。

- ・積極性はあるものの主体性に欠けている面がある。
- ・メディア利用や携帯電話等生活面で課題がある。
- ・地域人材を生かした体験活動を充実させていく。
- ・地域の一員であるという自覚を持てるようにしてい く。
- ・特別支援教育の充実を図り、通常学級においても児童 一人一人の困り感に対応できるようにしていく。



茶内中学校のグラウンドデザイン

今年度着任された田中校長が中学校のグラウンドデザインについて説明しました。要点は次のとおりです。

- ・義務教育9年間の出口として知・徳・体の目標をより 強調して取り組んでいく。
- ・中学校段階として、「よく考え判断し他者と力を合わせ新しいアイディアを創出し人生を切り拓いていく 人」を目指した対応をしていく。



- ・課題等にはよく取り組む 生徒のよさを生かして、さら に主体的な思いや行動力を 引き出すようにしていく。
- ・学校評価を年間2回実施し改善サイクルを見直す。
- ·「学校が楽しい」生徒を増 やすことができるよう学校 改善をしていく。



令和2年度のコミスクの活動計画について

昨年度末の運営協議会で話し合われた成果と課題をもとに、 今年度の活動計画を立てました。

【茶内盆踊り・八幡神社祭に向けた取組】

· 今年度はコロナ対応のため実施しない。

【運営協議会の回数】

·給食試食や児童生徒の様子をもとに話し合う機会を12月に 設定する。

【茶小もちつき会】

・今年度はコロナ対応のため実施しない。(自治会及び小学校 PTAにて実施しない方向で検討済み)

【コミスク便りの4地区交流】

- ・他地区の活動状況を知るために必要。
- ・運営委員に送付すると共にコミセンに掲示をする。

【人材バンクづくり】

・地域の方に協力いただきたい場面の洗い出しをし、次回コミスクで提案できるようにする。





